



Rin Rin No.136

乳がん体験者の会
りんりんの会

りんりん通信 2024年3月発行

*凛(りん)・・・自分のために！ *輪(りん)・・・仲間のために！ *鈴(りん)・・・社会のために！

RinRin・CoCoRin 今後の活動のお知らせ

総会 & Dr.吉田の乳がん講座

● 6月22日(土) 13:30~16:00
★地域交流センター「あすも」にて開催

- ※ 詳細は後ほどご案内致します。
- ※ 総会終了後の「Dr.吉田の乳がん講座」につきましては、会員以外の方も参加可能です。

会員の皆様にお知らせ

2024年度の会費納入につきましては、6/22(土)の総会後に振込用紙(郵便局の払込取扱票)を会員全員に送付致しますので、その後に入金をお願い致します。

RinRin・CoCoRin 定例会

● 3月16日(土) 10:00~11:30
● 4月20日(土) 10:00~11:30
● 5月18日(土) 10:00~11:30

★開催場所：大崎市図書館 2階研修室

★事前予約は必要ありません。

- ※ 会員の方以外、ご家族や医療スタッフも大歓迎です。(どなたでも参加可能です。)
- ※ ご希望があれば「補整用パッド作り講習会」も同時に開催いたします。パッド作り講習会に参加希望の方は材料キット作製準備の都合上、開催日の1週間前までにご連絡をお願い致します。
- ※ 初めて参加希望される方・参加を迷われている方・事前に情報が欲しい方は、ご遠慮なくお電話またはメールでお問い合わせください。スタッフが対応いたします。
- ※ 都合により日程・場所が変更する場合があります。参加ご希望される方は事前に大崎市民病院 HP・がんサロンなどで確認、またはりんりん携帯・e-mailにご連絡ください。



～りんりん通信に寄せて No.60～



ピアサポーター

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田龍一

我々乳がん診療に携わる医療者の多くは、毎年、日本乳癌学会学術総会(全国集会)に参加し自身の研究結果を発表したり新しい知見を得たりしています。乳癌学会は会員数9000人余、乳癌に関する基礎的ならびに臨床的研究を推進し、社会に貢献するとともに、社員及び会員である医師等の乳癌の研究、教育及び診療の向上を図ることを目的とし、年1回の学術総会の他に各地方で開催される地方会があります。ちなみに、全国規模の学術総会は5000人以上の乳がん診療に携わる医療者が参加するものですが、今年の学術総会は7月に仙台で開催されます。

3月2日、仙台で東北地方会が開催されました。大崎市民病院からは乳腺外科の王慧麗（おう・けいり）先生が「当院におけるトリプルネガティブ乳がんの治療成績」という演題をシンポジウムで発表しました。他の発表者と比較してもとても素晴らしい発表だったと個人的に思いました。また、今回は、我がりんりの会代表の高橋さんも発表されました。題して「がんピアサポーターの役割」です。ピアサポートとは、「同じような立場の人によるサポート」ですが、高橋さんはがん体験者として患者さんとその家族のサポートをするピアサポーターです。発表の中でピアサポーターの役割は、

①患者さんと気持ちの共有・不安軽減：同じ体験をしたからこそ分かり合える辛さの共有、患者目線での身近な情報提供による不安軽減

②医療スタッフとの連携：相談内容により医療スタッフ（社会福祉士・専門看護師・心理士他専門職）につなぎ、患者の生活の質改善の手助けを行う

と述べられました。これはとても重要かつ有意義なものです。資格を持っている人が少ないこと、ピアサポーターの存在が知られていないことが課題として挙げられ、ピアサポーターの有資格者を増やして、悩んでいる患者さん達をサポートするために広く周知させることも課題だと訴えました。乳がんに限らずがんと告知を受けてから、実際にどうすればいいのかわからないなどの悩みの相談や不安・恐怖感から解放されたいと、みなさんが考えることだと思います。当院のがんサロンで高橋さんと話された方はわかると思いますが、過去に同じ体験をされた高橋さんと話すことで、今後のイメージが沸いたり、こんなに元気になれるんだという安心感に繋がるためか、がんサロンを訪れた方達はみなさん行ってよかったと言います。チーム医療が叫ばれて久しいですが、ピアサポーターも患者会もチームの一員として機能するものです。

また、当院乳がん看護認定看護師の岩井さんも「乳がん患者の配偶者に必要な支援の検討」という演題で発表しました。配偶者の方もやはり同じようにショックを受け慌てるのですが、そんな中で乳がん治療に関する情報を得ようとするのがわかりました。しかし、その情報がインターネットや本などの媒体から得られるものがほとんどで、我々医療者からの情報提供が少ないことが示されました。そこで、またがんサロンやがん相談支援センターというものがその機能を果たす役割として重要であり、広く周知させる必要があると述べていました。

みなさんは経験済みですが、がん告知を受ける事は突然の非日常の世界であり、パニックになりがちで、何で？うそ！そんなはずはない！などと頭が真っ白になり混乱しますが、少し落ち着いてくると現実的になり、仕事はどうなる？来週の予定はどうなる？お金は？誰に伝える？死ぬの？などと次々と不安が襲ってきます。このように、患者さんとその家族は多くの不安を抱えており、その受け皿となるのが医療者だけでなくがんサロンやがん相談支援センターもあることを知っていただき、ご自身も含め周りにそういう方がいたら、是非一度訪れることを勧めてください。決して堅苦しくなくリラックスできるところで、悩みを聞いてもらうだけでもスッキリすることもあり、ふらっと行ってただ話だけでも構いません。

がんサロンもがん相談支援センターも内容に大きな違いはありませんが、ただ、高橋さんがいるのがんサロンです。大崎市民病院のがんサロンは、全国的にも数少ない、ピアサポーターがいるがんサロンです。治療中の方のみならず、治療が一段落付いた方でも突然の不安感を覚えたりするものです。そんな時はぜひがんサロンやがん相談支援センターを訪れてみてください。また、自分もこれからの患者さんの助けになりたいと思う方はぜひピアサポーターの資格取得に挑戦してみてください。詳細は高橋さんに訊いてください。がんサロンは2階のコンビニの裏手のほうに、がん相談支援センターは病院玄関から入って左手にあります。大崎市民病院の患者さんじゃなくても受け入れています。しかも無料です！ぜひご利用ください。



【連絡(お問い合わせ)先】

りんりん携帯：090-6259-9205/土日対応可 :strinrin320@gmail.com

りんりんの会は大崎市民病院地域医療連携室のサポートを頂いて活動しています

